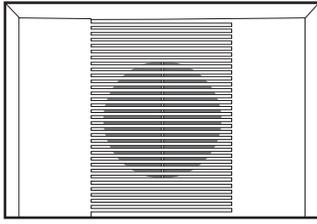


# UNI-PEX

## 取扱説明書



アンプ付

# キャビネットスピーカー

## CS-303P

このたびは、アンプ付キャビネットスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

スピーカーを取付けの際は、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取付工事に関する説明をよくお読みの上、正しくお取付、配線をおこなってください。この取扱説明書はお読みになりましたら大切に保管し、後日わからないことがあれば再びご覧ください。

工事業者様へ・設置工事終了後、この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

### 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### 絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### 異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



プラグをコンセントから抜く

#### 工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



#### 分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



#### 異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



#### 電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



#### 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



#### 常時振動する場所に取り付けない

振動で金具が破損し、落下によりけがの原因となります。



#### 配線は正しくおこなう

ショートや、誤配線により火災の原因となります。



**⚠ 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容  
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

<b>湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない</b> 火災・感電の原因となることがあります。	
<b>重量に耐える場所に取り付ける</b> 取付場所の強度が不十分なとき、落下したりしてけがや破損の原因となることがあります。	
<b>通行などの障害となる場所には設置しない</b> 引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。	
<b>電源コードを熱器具に近づけない</b> コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	
<b>長時間音が歪んだ状態で使わない</b> スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。	
<b>長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く</b> 火災の原因となることがあります。	  プラグを コンセント から抜け
<b>配線は、アンプの電源を切っておこなう</b> 感電の原因となることがあります。	
<b>お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く</b> 感電の原因となることがあります。	 プラグを コンセント から抜け
<b>電源を入れる前には音量を最小にする</b> 突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。	
<b>本機の周囲は10cm以上の間隔をおいて設置する</b> 内部に熱がこもり火災の原因となります。	
<b>濡れた手で、電源コードを抜き差ししない</b> 感電の原因となります。	
<b>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない</b> コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。	
<b>定期点検を実施する</b> 定期点検を実施し取り付け状態を確認してください。	
機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。	
1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。	

## 設置・使用上のご注意

- 本機を水滴または飛沫のかかる場所で使用しないでください。
- 本機を雑音発生の原因になる機器<sup>\*</sup>の近くには設置しないでください。  
<sup>\*</sup>高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器など。

### 遮断装置について

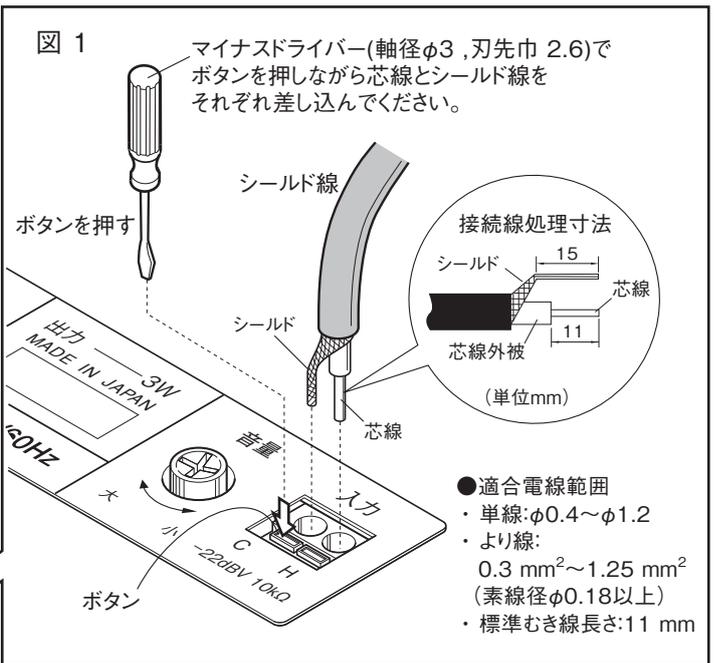
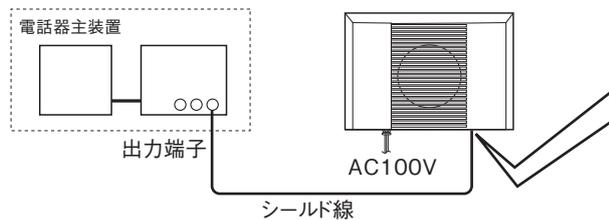
- 本機は電源プラグが遮断装置になります。
- 本機は遮断装置へ容易に手が届くように、電源コンセントの近くで使用してください。

# 配線方法

- 配線にはシールド線を使用し、最短距離で電話主装置と接続してください。
- 線材は入力端子のボタンを押しながら、抜き差ししてください。接続は必ず奥まで差し込んでください。
- 芯線は外被を11mmむき取って、芯線の外被部分が端子穴(H)に3mm位入るように差し込んでください。
- シールドは15mmの長さに処理し、端子穴(C)に差し込んでください。(図1/2参照)

**⚠注意** 芯線を端子穴から露出させない。ショートにより故障の原因となります。

図2



# 取付方法

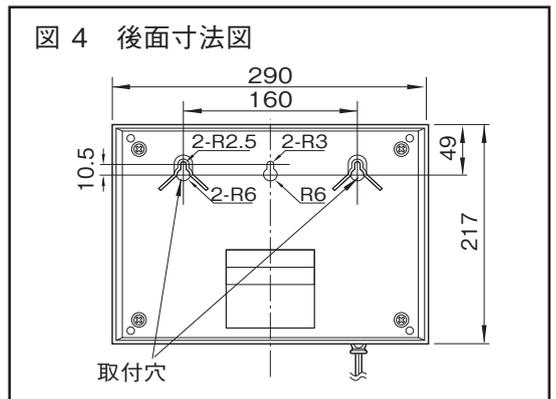
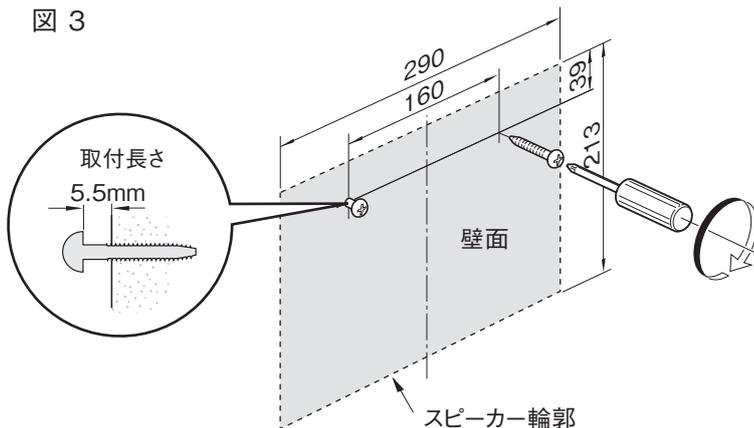
## 1. 取付ねじを壁面に取り付ける

- 付属の木ねじ(φ4×38)を図3/4の各寸法を参考にして取り付けてください。
- ねじは壁面より5.5mm出して取り付けてください。(図3参照)
- 取付面の材質により、適切なねじやカールプラグなどを別途お求めください。

注意) ・スピーカーの重量に充分耐えられる場所または、補強を施した場所に取り付けてください。

尚、取付場所の強度不足など、取付方法の不備による事故に対する一切の責任は負いかねます。

図3



## 2. スピーカーを取り付ける

- 入力端子に配線をおこなってから、スピーカーを壁面に掛けてください。(図5参照)

